



BUSINESS REPORT

About

会社概要

商 号	株式会社アルチザネットワークス		
設 立	1990年12月27日		
資本金	13億5,935万円		
売上高	41億1,324万円（2023年7月期：連結）		
従業員数	179名（2023年7月期：連結）		
事業内容	通信インフラ構築に使用される通信計測機及び通信インフラの保守 運用管理を行うネットワーク・マネジメント・システムの開発、販売 並びに各種通信機器の開発、販売		
各種許認可	一般労働者派遣事業（許可番号：派13-304665）		
取引銀行	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行、商工中金、横浜銀行 他		
役 員	代 表 取 締 役 会 長	床 次 隆 志	
	代表取締役社長執行役員	床 次 直 之	
	取 締 役 執 行 役 員	永 井 英 樹	
	社 外 取 締 役	Jacob J. Hsu	
	常勤監査役（社外監査役）	久 米 富 幸	
	監 査 役	菅 谷 常 三 郎	
	社 外 監 査 役	串 間 和 彦	
	執 行 役 員	常 田 義 則	
主要取引先	NTTグループ各社 / KDDIグループ各社 / ソフトバンクグループ各社 / NECグループ各社 / 富士通グループ各社 / パナソニックグループ各社 / 日立グループ各社 / エリクソン / ノキア / ファーウェイ（HUAWEI） / ZTE / チャイナモバイル（中国移动通信集团公司） / 京セラグループ各社 / 沖電気工業グループ各社/ 住友電工グループ各社 他多数（順不同・敬称略）		
本社所在地	東京都立川市曙町2丁目36番2号ファーレ立川センタースクエア Phone：042-529-3494 / Fax：042-529-3495		
滝沢事業所	滝沢デベロップメントセンター / 滝沢テレコムテストセンター 岩手県滝沢市巢子152-417 Phone：019-601-3080		
関連会社	株式会社シー・ツー・エム 東京都豊島区駒込1丁目37番9号エル・エスビル2階 Phone：03-5978-1855		
海外拠点	アルチザ ベトナム ソフトウェア開発株式会社 Công ty TNHH phát triển phần mềm Artiza Việt Nam 10F, G8 Golden building, 65 Hai Phong, Thach Thang, Hai Chau, Da Nang, Viet Nam Phone：+84-(0)947-566-299		

Vision

経営理念

全社員の成長と幸福を追求すると同時に、お客様、社会の進歩発展に貢献する

Mission

事業目標

品質・技術力・創造性でお客様の満足を獲得する

Artiza Philosophy

アルチザフィロソフィ

アルチザは、企業が長期的に成長・発展を維持するためには、全社員による「考え方」の共有が最も重要であると確信しています。私たちはその「考え方」を「アルチザフィロソフィ」として制定し、朝礼での唱和、現場の日常業務での実践に努めています。そしてこれは、全社員の人間的成長を促し、真の社会人、真の経営者を育てることに大きく役立つと信じています。また、「作る」と「売る」という機能をもつアルチザの現場とフィロソフィの架け橋となる「心得」を各部門ごとに制定し、実務の現場はその実践にも努めています。「差別化された製品を開発し、高品質な製品を製造し、顧客に販売して、高収益をあげる」これらを実現するのは紛れもなく現場の社員たちです。すなわち、企業文化によって差別化された社員の考え方や行動が、真の企業の強さを引き出してくれるのです。



Beyond 5G

現在、普及の兆しを見せる5Gは、今後数年で、
本格的な社会への実装を迎えるでしょう。

アルチザネットワークスは、
5G基地局の負荷試験を行う計測機器のメーカーとして、
5Gの進化を目の当たりにしながら、社会を変え、
人々の生活を豊にしていける技術を実現するために、
日々、新たな課題に挑み続けています。

そして、5Gの先には、まだ誰も見たことのない、
未知の世界が待ち受けています。
それは、今までの私たちの常識が大きく覆されるような
革命的な技術革新なのかもしれません。

これまでのルールが通用しない新たな課題が立ちはだかる時、
わたしたちに求められるのは、
リスクを恐れず、チャレンジすること。

来たる次世代へ向けて、わたしたちの挑戦は、もう始まっています。

Message From CEO

企業において事業戦略を担当するCEOという重責をになう私にとって、昨年は会社の進むべき道程を「出口から考える」ことの重要性を再認識させられた年でした。事業戦略の「出口」とは、すなわち「ビジョン」です。私たちがここ数年続けてきたことの先にある姿を、もっとも端的に表してくれる「言葉」です。そして私たちは、「RAN-TSP (Radio Access Network Technology Solution Provider) No.1」をその「言葉」に選びました。この「RAN-TSP No.1」というビジョンは、従前から私たちが取り組んできたDuoSIM-5G/etherExtractorなどの自社開発テスター製品に加えて、岩手県滝沢市に建設したTDC (Takizawa Development Center) / T3C (Takizawa Telecom Test Center) で展開するテストサービス事業や5G通信インフラ機器開発など、移動体通信事業においてもっとも大きな投資が必要となる「Radio Access Network」において「No.1」の「Technology Solution Provider」を目指すという私たちの宣誓なのです。

私がCEOとなり、不肖実弟がCOOとなってから早三年余りが過ぎました。その間アルチザは、若い力が原動力となり、企業業績を向上して参りました。アルチザはその事業ドメインを、「Test Solution Provider」から「Technology Solution Provider」へと拡張するのを機に、既存ビジネスを成長させるだけでなく、新しいビジネスを開拓しながら、「RAN-TSP No.1」という新しいビジョンに向かって大きな飛躍を始めます。

創業者 代表取締役会長 CEO

床 次 隆 志

Message From COO

2023年は新ビジョン「RAN-TSP No.1」に向かうべく、以下のプロジェクトに取り組んで参ります。

1. 5G基地局テストシステム「DuoSIM-5G」の海外展開

2020年より世界を襲ったCOVID-19により、海外市場に向けた販売は思うように展開することができませんでした。昨年より海外市場への販売立て直しを取締役会における最重要課題と位置づけ、開発リソースの増強に努めて参りましたが、今年はその結果が問われる年となります。また、5Gインフラ市場においては現在、O-RAN (Open Radio Access Network) 技術による基地局技術のオープン化が始まっています。アルチザは昨年来、その推進団体となるO-RAN Allianceにおいて提案活動を行って参りましたが、引き続きその推進に積極的に貢献して参ります。また、当社主力製品DuoSIM-5G においては、今年以降予定されている下り・上りの高速化技術となる「DL-3CC/4CC」や「UL-256QAM」などの新機能への対応を行うだけでなく、多セル・多端末など、アルチザ製品ならではのアドバンテージを最大限活かした製品展開を積極的に進めて参ります。

2. vRAN向け製品の展開

昨年初、弊社はインテル®FPGA Agilex™を搭載したvRAN対応5G無線基地局に使用するFPGAボード（製品名：Griffin）の開発を行う旨をインテル社と共同で発表しました。移動体基地局メーカーは従前より、独自設計のプラットフォームとハードウェアを使用してきましたが、現在5Gの基地局の技術において「オープン化」と「仮想化」の流れが生まれつつあります。当該FPGAボードは、vRAN対応5G無線基地局のプラットフォームに使用される汎用サーバに搭載されるものです。当社は創業以来「通信インフラのテストソリューションプロバイダ」として活動してきましたが、ここ数年通信機器メーカーの配下で5Gインフラ機器の開発業務も進めて参りました。当製品は、アルチザの新ビジョン「RAN-TSP No.1」のもとでの最初の自社開発製品として、当社が蓄積してきたハイエンド通信機器開発能力を余すところなく投入したフラッグシップ製品となるものです。

3. ベトナム開発拠点の設立

アルチザは一昨年より調査・準備をしてきました、ベトナム・ダナンでのソフトウェア開発拠点の設立を進めて参ります。開設時十名程度のエンジニアでスタートし、順次増員してゆく計画です。当該拠点においては、当社製品の海外展開が必要となるソフトウェアのローカライゼーションを担当する予定です。海外拠点といえどもアルチザ独自の企業文化の共有、マネジメントシステムの移植などを確実に行い、慎重な運営を行って参ります。

4. Beyond 5Gおよび6Gに向けた研究開発

5Gの技術も4G LTE同様、端末・基地局に対して新しい機能が継続的に追加されています。さらにもう数年で次世代技術となる6Gの技術開発もスタートすることでしょう。アルチザのような技術開発集団にとってもっとも負荷が高まるときは、既存の機能追加を行いながら次世代の技術開発を行うフェーズです。アルチザはこれに対応するため、人材面と組織面で準備をすでに始めています。人材面においては産学連携により、近年移動体通信分野において不足気味の無線通信エンジニアの育成に力を入れて参ります。また6Gに特化した研究開発チームの発足も準備しています。

5. SDGsへの取り組み強化

アルチザでは従前よりSDGsに対して積極的な取り組みを行って参りました。この分野における新しい取り組みといたしましては、岩手県滝沢市に建設したTDCとT3Cの両建物の屋根全面にソーラーパネルの設置し、年間予想発電電気量96,377KWhを発電、年間約52.2トンのCO2削減を実現する予定です。また、当該設備による発電は自社設備での使用を主目的としますが、余剰分については東北電力への売電を行う予定です。

以上の取り組みにより、アルチザネットワークスはさらなる成長を目指して参りますので、みなさま是非ご期待ください。

代表取締役社長執行役員 COO

床 次 直 之

History

会社沿革

1990 (平成2年)

12月 東京都立川市柴崎町2丁目
7番17号に株式会社エイブル
コミュニケーションを設立

当時のロゴ

Able
Communications

2001 (平成13年)

4月 株式会社アルチザネットワークスへ商号変更
7月 東京証券取引所マザーズへ上場

現在のロゴに変更

Art/za
Networks



2018

2021



1991



1998



2003



2009

DuoSIM
Artiza Networks LTE Tester



2011 2013

30
30th Anniversary

2020

Griffin



2023

- 1990年12月 東京都立川市柴崎町2丁目7番17号に株式会社エイブルコミュニケーションを設立
- 1991年10月 SS7テストシステム (DXV-100) の開発、販売を開始
- 1993年11月 PHSテストシステム (PHS基地局テストシステム) の開発、販売を開始
- 1995年 1月 ATMテストシステム (ATMプロトコルアナライザDB-1000) の開発、販売を開始
- 1998年 8月 IMT-2000テストシステム (W-CDMA評価テストシステム) の開発、販売を開始
- 1999年 2月 IMT-2000テストシステム (W-CDMA商用機評価テストシステム) の開発、販売を開始
- 2000年 1月 東京都立川市曙町2丁目36番2号に本社を移転
- 2001年 4月 株式会社アルチザネットワークスへ商号変更
- 7月 東京証券取引所 マザーズへ上場
- 2003年 7月 ANPro-800 (IPパフォーマンススタ) の開発、販売を開始
- 9月 3.5G HSDPA RNC機能シミュレータの開発、販売を開始
- 2004年 3月 中国移动通信集团公司にIMT-2000テストシステムを納入
- 可搬型 ANPro-500 (IPパフォーマンススタ) の開発、販売を開始、またANProシリーズでATMをサポート
- 2005年 7月 ANProシリーズで、PPPoE、IPv6をサポート
- 10月 EST-01を販売開始
- 2006年 1月 ドコモ・テクノロジー株式会社との販売代理店契約を締結
- 2008年 2月 3.5G UEシミュレータを開発、販売を開始
- 6月 3.5G HSUPA対応RNCシミュレータを開発、販売を開始
- 1GbE対応 広域イーサネットサービススタ (GEST-1) を発売開始
- 2009年 1月 LTE eNBテストシステムを開発、販売を開始
- 10月 LTE eNB Load Testerを開発、販売を開始

- 2010年 3月 一般労働者派遣事業許可を取得
- 7月 USセールスオフィスを開設
- 9月 阿基捷 (上海) 軟件開発有限公司を設立
- 10月 LTE EPC Load Testerを開発、販売を開始
- 2011年 1月 WiMAX VPNルータ WARV-1を開発、販売
- 6月 WiMAX Wi-Fi モバイルルータ (AZ01MR) を開発、販売
- 7月 LTE Tester DuoSIMを開発、販売を開始
- 2013年10月 パケットキャプチャシステム (etherExtractor) を開発、販売
- 2014年12月 東京証券取引所 市場二部へ市場変更
- 2015年 5月 WiMAX2+対応 VPNルータ WARV-2を開発、販売
- 12月 制御ネットワーク用 侵入検知装置 (etherExtractor IDS-IN) を開発、販売
- 2016年 7月 IP映像伝送路 無瞬断経路切替システム (Video Stream Combiner) を開発、販売
- 12月 岩手県滝沢市にTDC (Takizawa Development Center) を開設
- 2017年 7月 ISO 9001、ISO 14001、OHSAS 18001 の認証を取得
- 2018年 2月 Takizawa Development Center 新社屋 竣工
- 2019年 3月 5Gテストシステム (DuoSIM-5G)を開発・販売
- 2020年 3月 ノキア向けに5G基地局テストシステムを受注
- 6月 NTTドコモ・NECへ5G向けテストソリューションを納入
- 6月 富士通より5G向け基地局の評価業務を受注
- 9月 パケットキャプチャシステム (etherExtractor NEO Lite) を開発、販売を開始
- 2021年 2月 T3C (滝沢テレコムテストセンター) 竣工
- 2022年 4月 東京証券取引所スタンダード市場に移行
- 5月 株式会社シー・ツー・エムの全株式を取得しグループ化
- 2023年 6月 ハイエンドFPGA搭載 SmartNICボード (Griffin) を開発・販売

Products



5Gモバイルテストソリューション

DuoSIM 5G

世界最高レベルの負荷試験

DuoSIM-5Gは、5G基地局（gNB）に対して世界で最も強力な負荷を掛けることができるテスト装置です。最先端の5Gネットワークでのパフォーマンステスト項目に対応できるように構築されています。膨大な数の4G/5Gデバイス、リアルなC / U-Planeトラフィックモデル、モビリティ、4Gおよび5Gコアネットワークの両方をシミュレートすることにより、実際のフィールドで発生しうる厳しい試験条件をテストラボ内にて実現します。DuoSIM-5Gは、4Gの開始から5Gへと業界をリードしてきたArtiza Networksの基地局負荷試験機（DuoSIM）の最新モデルです。そのテストプラットフォームは、柔軟性・拡張性が高く、4Gおよび5Gの最先端のテスト要件に対応します。

Amarisoft社

AMARI Callbox

5G NR、LTE、NB-IoTユーザー機器のエンドツーエンドテストに最適なソリューション

プラグ・アンド・プレイ形式で必要機能をPCにパッケージ・統合化し、LTEおよび5G NRのあらゆるタイプのUEのテストに対し、高度な構成を備えた理想的なテスト・ソリューションです。

AMARI UE Simbox

eNodeBとコアネットワークの機能およびパフォーマンステスト用のUEシミュレータ

LTE eNodeB、5G NR gNodeB(NSA, SA)、LTEおよび5Gコア・ネットワークの機能およびパフォーマンス・テストをサポートする理想的なソリューションです。



ハイエンドFPGA搭載PCIeボード

Griffin

Intel® Agilex™ 7 F series FPGAを搭載

- Griffinは第3世代Intel® Xeon® スケーラブル・プロセッサ搭載サーバーで動作するFull Height 4/3 Length フォームファクターのシングル スロット カードです。
- 外部I/Fは最大100GbpsのQSFPを2基、1PPT in/out用のSMAコネクタを搭載します。
- 内蔵メモリは、FPGA Fabric用に16GB DDR4、FPGA内蔵Arm® Cortex® -A53 CPU用に2GB DDR4を搭載します。

映像伝送・トラフィック処理などハイパフォーマンスが必要な用途に活用可能です。

NEO eE etherExtractor

大容量パケットキャプチャ

100%取りこぼしの無いパケットのキャプチャとストレージ保存を保証したシステムです。ラックマウントタイプと可搬性の高いポータブルタイプ、10M/100M/1G/10Gイーサネットまでキャプチャ性能、ストレージ容量に応じてお選びいただけます。キャリアネットワーク、データセンター、エンタープライズの幅広い業界で採用されています。



eE-NEO Pro

抜群の信頼性 & コストパフォーマンス

- 長期安定稼働
- 1Uサイズ
- オールフラッシュストレージ
- 進化したGUI
- 複数ユーザ同時使用
- 5G Fronthaul 対応



インダストリアルネットワーク対応IDS

Highlights

財務ハイライト

- 業績概要

 - ・売上高は前期に対して 429M減少（9.5%減）
 - ・営業利益は前期に対して 1,064M減少
 - ・経常利益は前期に対して 1,042M減少
 - ・当期純利益は前期に対して 945M減少
前期比で大幅な減収減益となった。
- 事業状況

 - ・モバイルネットワークソリューション（移動体通信関連）の売上は前期比で減少
 - ・I Pネットワークソリューションの売上也減少

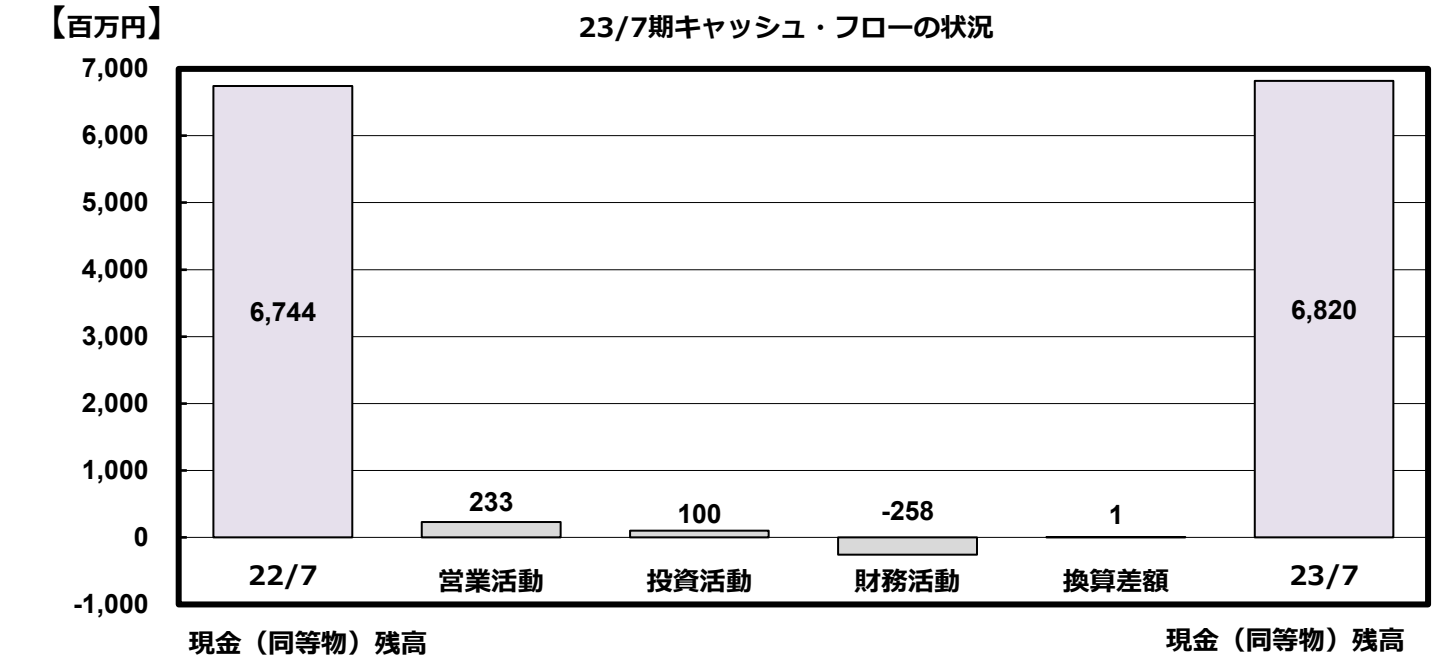
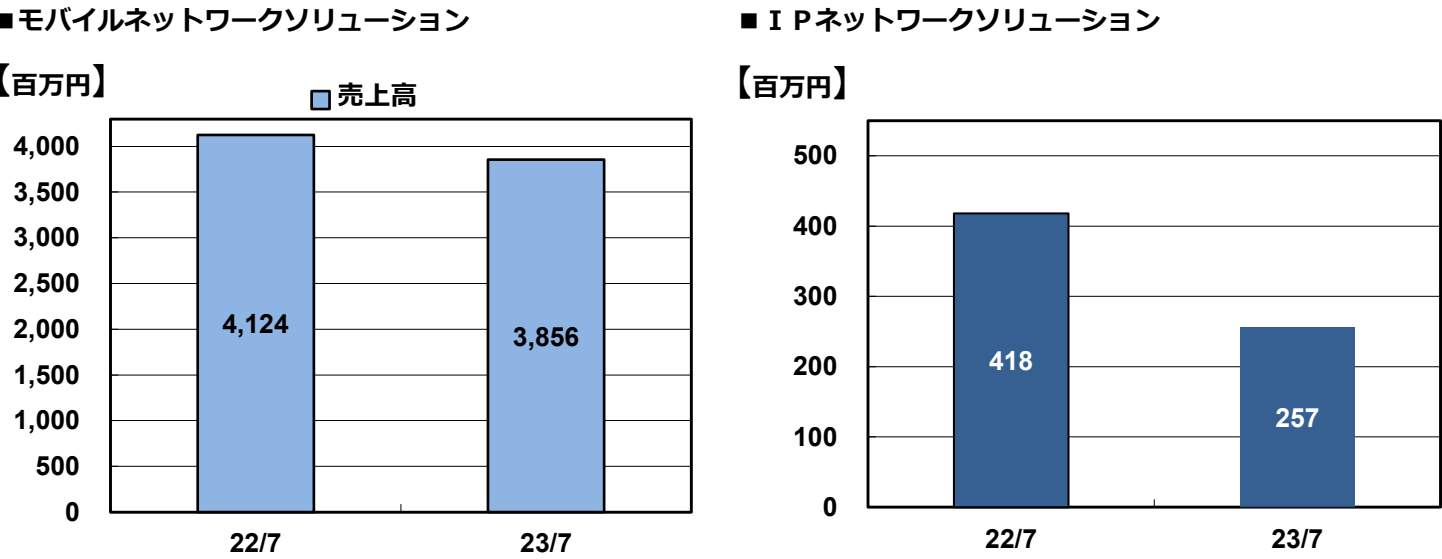
- 業績予想

2023年6月8日発表の修正業績予想に対して、売上高594Mの減少、営業利益612M減少、経常利益591M減少、当期純利益515M減少で予想を下回り着地
- 23/7期キャッシュ・フローの状況

・当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による収入233M、投資活動による収入100M、財務活動による支出258Mにより、資金残高は6,820Mとなりました。

	22/7期 実績		23/7期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	4,542	100.0	4,113	100.0	▲429	▲9.5
売上総利益	3,542	78.0	2,751	66.9	▲791	▲22.3
営業利益	1,462	32.2	398	9.7	▲1,064	▲72.8
経常利益	1,473	32.4	431	10.5	▲1,042	▲70.7
当期純利益	1,097	24.1	152	4.0	▲945	▲86.1
総資産	10,504	100.0	9,769	100.0	▲735	▲6.9
純資産	7,617	72.5	7,447	76.2	▲170	▲2.2

	22/7期 実績		23/7期 実績		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
モバイルネットワークソリューション	4,124	90.8	3,856	93.8	▲6.5
IPネットワークソリューション	418	9.2	257	6.2	▲38.6
合計	4,542	100.0	4,113	100.0	▲9.5



	2019/07	2020/07	2021/07	2022/07	2023/07
営業活動による キャッシュ・フロー	56,903	632,821	1,873,203	826,984	233,226
投資活動による キャッシュ・フロー	△264,645	△36,988	△529,782	△201,517	100,837
財務活動による キャッシュ・フロー	1,068,524	357,644	1,995,035	△130,392	△258,799
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△5,018	△2,034	4,475	6,812	1,282
現金及び現金同等物の 増加・減少（△）額	855,763	951,441	3,342,932	501,887	76,547
現金及び現金同等物の 期首残高	1,091,752	1,947,516	2,898,958	6,241,890	6,743,778
現金及び現金同等物の 期末残高	1,947,516	2,898,958	6,241,890	6,743,778	6,820,325

Forecast

業績予想

■業績予想

- ・売上高は前期比4.1%増加でほぼ横ばい4,280Mを予想。
- ・物販セグメント、サービスセグメント共に新規開発は継続するため、研究開発費は前期と同程度の水準で推移すると見込むが、売上の増加に伴い増益は確保。
- ・1株当たり配当については、20円の配当実施の予想。

■セグメント別 売上予想

- ・物販セグメントは、前期比2.3%増加で2,885Mを予想。国内に加え、海外向けの5G対応製品の販売に注力。市場の回復と新製品投入効果等により、増収の計画。
- ・サービスセグメントは、通信における経験・知識を生かした新規テストサービスや既存の基地局テストサービスの拡大も見込み、増収の計画。1,395Mを見込む。

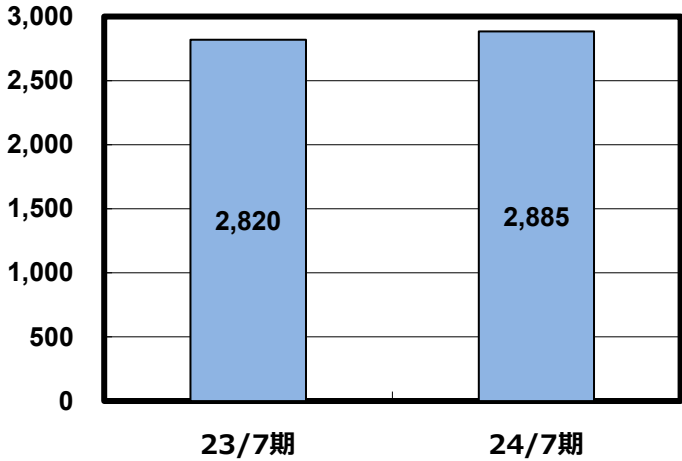
24/7期 業績予想

	23/7期 実績		24/7期 予想		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	4,113	100.0	4,280	100.0	4.1
営業利益	398	9.7	452	10.6	14.4
経常利益	431	10.5	429	10.0	0.2
当期純利益	152	4.0	329	7.7	99.7
1株当たり利益	16円 52銭		36円 03銭		
1株当たり配当	30.00円		20.00円		

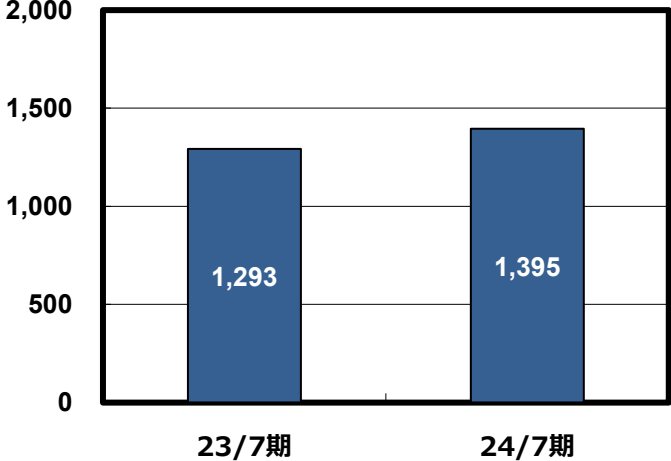
24/7期 セグメント別売上予想

	23/7期 実績（注1）		24/7期 予想		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
物販	2,820	68.6	2,885	67.4	2.3
サービス	1,293	31.4	1,395	32.6	7.8
合計	4,113	100.0	4,280	100.0	4.0

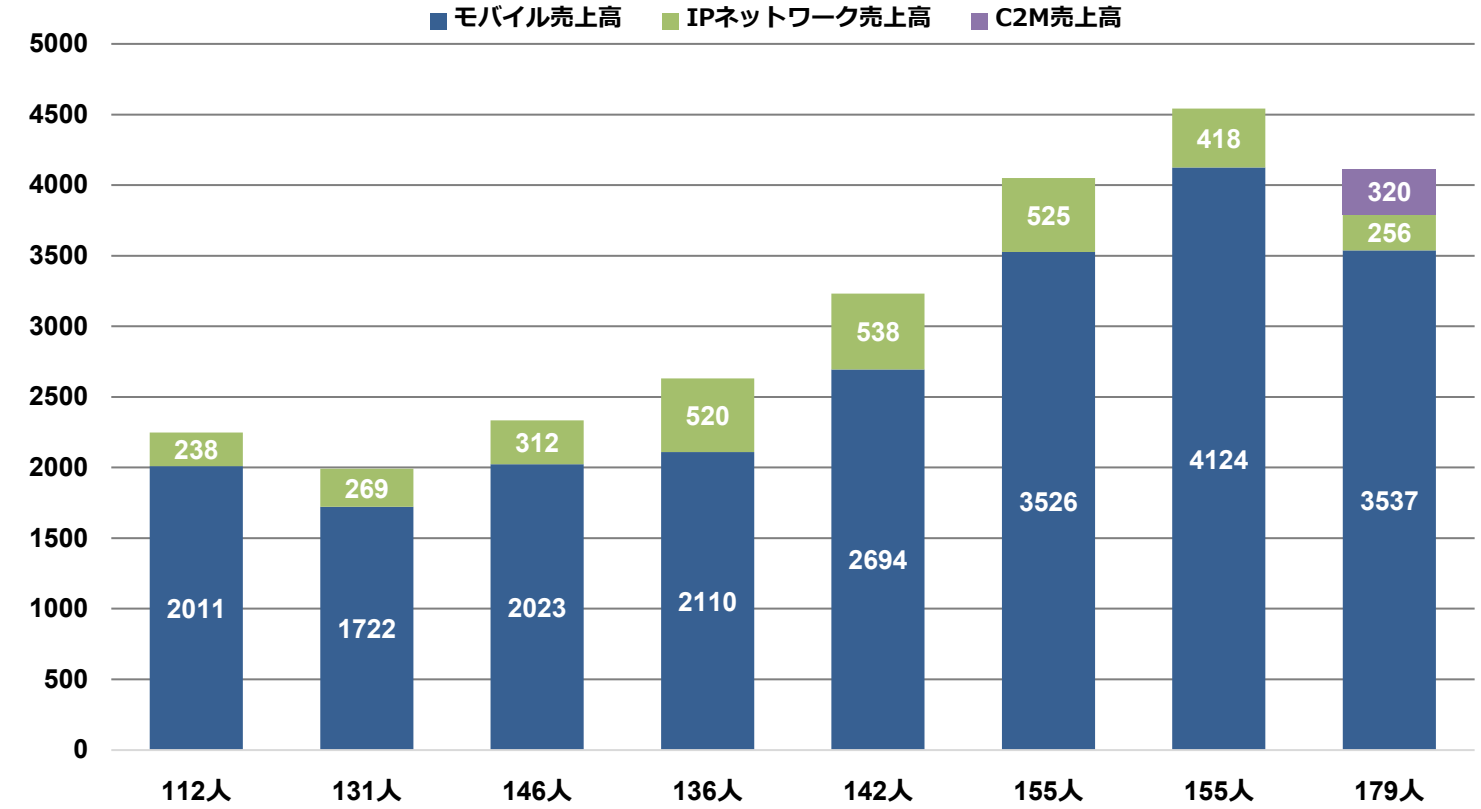
【百万円】 ■物販セグメント



【百万円】 ■サービスセグメント

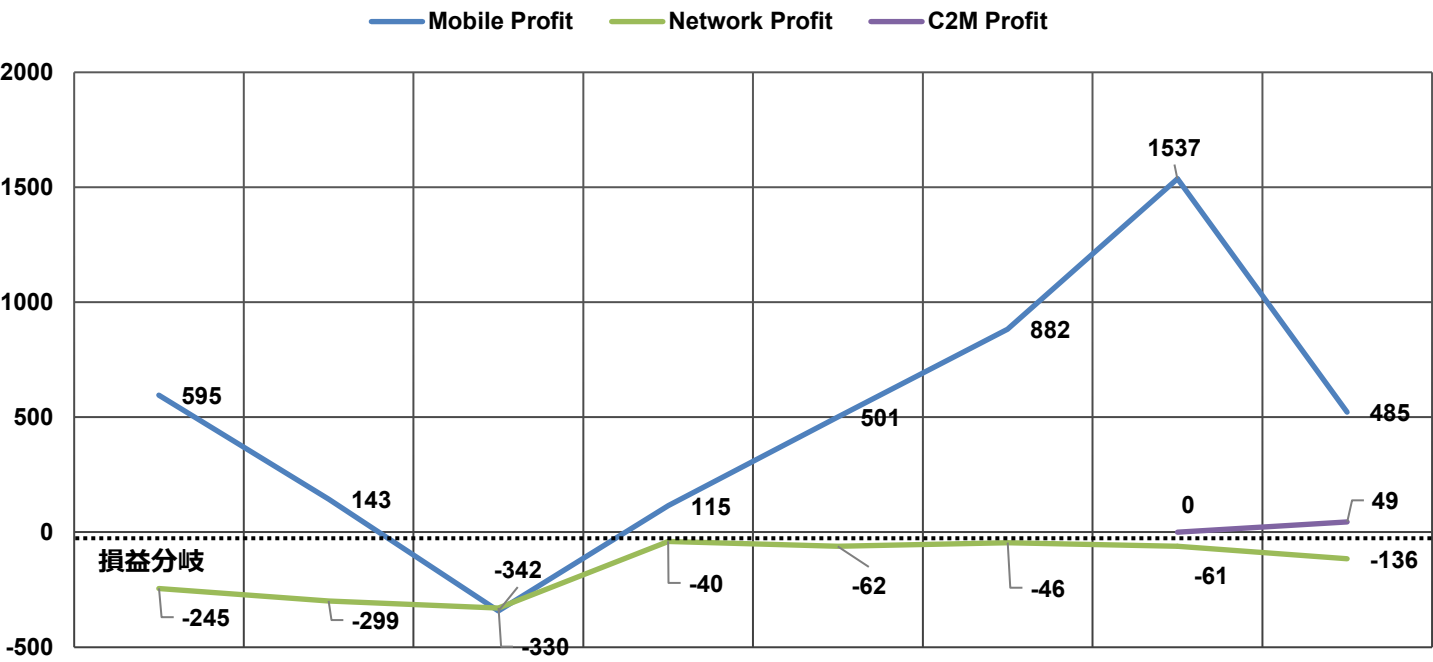


過去8年間の経営実績



全社	26期	27期	28期	29期	30期	31期	32期	33期
売上高	2,249	1,991	2,335	2,630	3,233	4,051	4,501	4,113
営業利益	350	-155	-672	74	439	836	1,369	398

事業ごとの営業利益



アルチザの目指す姿

VISION

2028

売上高

80 億円

(2020/07年度比 2.5倍)

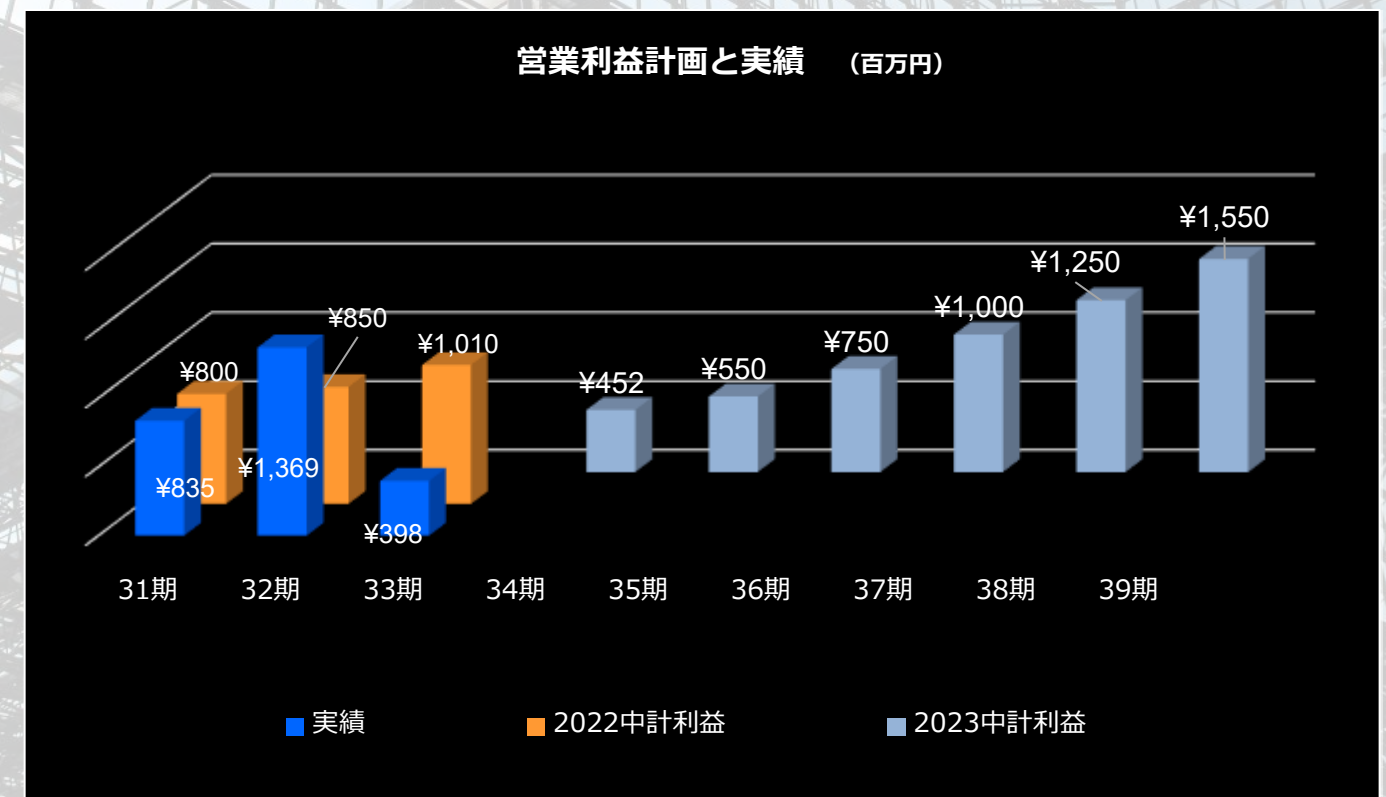
営業利益

15.5 億円

(2020/07年度比 3.9倍)

- ・基地局負荷試験機で World Wide No.1を早期に実現する。
- ・テストサービスビジネスモデルを作り国内シェアNo.1になる。
- ・未来の成長を牽引する新規事業に果敢に挑戦する。
- ・每期売上・利益を10%以上成長しつづける。

2023中期経営計画 Revised



2023 重点施策

I. 既存事業の強化

顧客企業の価値と社会のQoL向上
既存事業からの派生、市場拡大
カスタマーサポート対応強化

II. イノベーション

新規事業の創造
新しいビジネスモデルへ挑戦

III. 人材改革と育成

全社教育
若手、次世代マネジャーの育成
辞めない組織風土
エンゲージメントの向上
組織や事業進捗状況のモニタリング体制

I. 既存事業の強化

顧客企業の価値・社会のQoL向上

既存事業からの派生 市場拡大



グローバル市場への拡販
海外ベンダーとのコラボレーション
Pre-Sales (PoC&評価Report)
vRAN基地局接続実績の拡充 (DuoSIM-5Gの拡販)

テストサービスの拡大
基地局 5G-SA/NSA混在テストに加え
vRAN基地局へのテストサービスを拡大
多セル化試験 (数百セル) 環境と高スループット

インフラ機器開発とO-RAN準拠
LTE/NR向け基地局中間装置に加え
Griffin (FPGA搭載 SmartNIC ボード) の拡販
vRAN/NFV/映像・光伝送/半導体露光 市場がターゲット

サービス監視システムの拡販
5G-SAの配備の加速に伴う拡販と新機種への導入計画
他キャリア様への横展開へ

ether Extractor の拡販
海外ユーザへの導入計画

カスタマーサポート対応強化

モバイルプロダクト
試験計画から被試験機の不具合解析レポートと修正確認まで
カスタマーサポートエンジニアとR&Dエンジニアが担当

ネットワークプロダクト
Local-5G評価問題点を聴取し評価機器をカスタマイズ
関連機器の受託開発



Ⅱ．イノベーション

新規事業の創造

プロトコル・エアモニタの市場参入

基地局と端末間のプロトコルをキャプチャし解析を行う製品を開発

New Concept UE Simulator

DuoSIM-5G 廉価版開発（海外への製品拡販に向けて）

SVOPS 新パケットキャプチャ

SVOPS販売から5年間経過、最新の技術動向に適応

5G及び仮想化、コンテナ化、ZTO (Zero Touch Operation)

新しいビジネスモデルへ挑戦（LaaS）

Lab as a Service

5G Evolution・6G/vRAN/Local5G 基地局開発 に向けた

One stop solution の提供

Ⅲ.人材育成と組織改革

全社教育

- ・ 全社としてベクトルの揃ったテーマ選定
- ・ 強化したいテーマを絞った階層別教育

若手、次世代マネジャーの育成

- ・ メンターマインド研修
- ・ 都度必要な施策を自ら実行できる人材を育てる
- ・ スキルやノウハウの数値化
- ・ アメーバ経営内容の理解と分析
- ・ 人材育成リーダーの心得の週次輪読

辞めない組織風土

- ・ ビジョン・目標の共有化を徹底
- ・ 計画・目標の達成感も組織で共有

最近の主な話題

「DuoSIM-5G」を活用した5G 仮想化基地局の検証実施について

富士通株式会社製の5G 仮想化基地局と、当社が開発・販売する第5 世代移動通信システム（5G）のネットワーク開発、評価向けテストソリューション「DuoSIM-5G」を使用した接続評価を実施いたしました。

富士通は、O-RAN ALLIANCEに準拠した5G 仮想化基地局を5G 商用ネットワークサービス向けに納入いたしました。

この取組みに対して当社は、「大容量化」「データ通信の高速化」「端末の同時接続性能の向上」の試験に最適なソリューションを提供し、5G 仮想化基地局の検証、評価に協力いたしました。当社は、富士通のグローバル展開に向けて協力を継続いたします。

当社は、今後、本製品を引き続き需要の増加が見込まれる通信事業者、通信機器ベンダおよび5G ネットワーク市場において、国内および海外に広く販売して行きたいと考えており、最適なテストソリューションを積極的に提供してまいります。

廣告

電車内広告



駅内広告



学食トレイ広告



タイアップ企画 FPGAマガジンのGriffin広告

Griffin



アルテザネットワークスの国産FPGAボード「Griffin」は、Intel®のハイエンドFPGA「Agilex™ 7 F series (AGF8027)」を搭載したPCI-Express Gen.4 x16カードです。100GbpsのQSFP28ポートを2基、DDR4メモリを16GB搭載。超高速映像伝送、映像編集など、大量のデータフローを必要とするシステムに最適なプラットフォームです。

特長

最高クラスのFPGAファブリック

Griffinに搭載されているFPGA「Intel® Agilex™ 7 F series (AGF8027)」は、2.7M LEsという最高クラスのロジックエレメントを誇ります。加えて、ファブリック専用DDR4メモリを16GB 搭載しているため、従来では別ボードに分けざるを得なかった機能も1ボードで完結できます。

QSFP28ポートを2基搭載

100Gbpsの転送速度を誇るQSFP28ポートを2基搭載。IEEE1588の時刻同期機能、SMAコネクタでの1PPS入出力の実装も可能です。

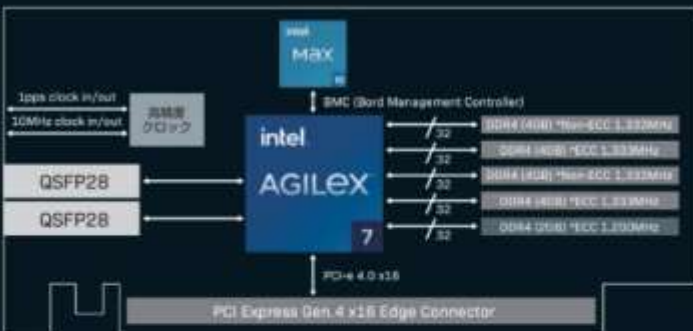
Cortex®-A53 CPU + 2GB DDR4 SDRAM

Intel® Agilex™ 7 F seriesに内蔵されているクアドコアCPU「Arm® Cortex®-A53」と、CPU専用の2GB DDR4メモリ、FPGAファブリックと併せることで、SoCの構築が可能です。

BMCを搭載

電源/温度管理、リセット制御、FPGAのコンフィギュレーションを司るBaseboard Management Controller (BMC)として、「Intel® MAX® 10 CPLD」を搭載しています。

仕様概要	
名称	Griffin
FPGA	Intel® Agilex™ 7 AGF8027R25A212V
Ethernet I/F	100GbE x2 /25GbE x2 x2/10GbE x8
フォームファクター	PCI Express Gen.4 x16
RAM	16GB DDR4 (FPGA Fabric用) + 2GB DDR4 (FPGA内蔵CPU用)
カードサイズ	フル高さ・3/4サイズの長さ (Full Height 3/4 Length)
電源	バスパワー 最大75W + 4x2ピンコネクタ 最大150W (バスパワーのみの動作は不可)
ボードマネージメントチップ	Intel® MAX® 10
時刻同期機能	IEEE 1588対応、1PPS in/out SMAコネクタ



Griffin ブロック図

PCIeコンプライアンス・テスト確認済み

PCI Expressは非常に高速な電気信号を使用するので、信号品質が悪いと、誤動作・動作不良を引き起こす原因となります。信号品質を評価するために、PCI-SIGの規格で定められた複数のテスト項目により適合性を確認する認証試験が、「PCIeコンプライアンス・テスト」です。アルテザネットワークスは、PCI-SIG Compliance Workshopで使用される機材と同等のテスト機材・手法でGriffinをチェックし、物理層の電気的特性が適合していることを確認しました。

Griffinリリース記念
無償レンタルキャンペーン

Griffin1枚を2週間無償でレンタル(貸与)いたします。万が一レンタル中に故障しても修理費は不要です(故障の場合を除く)。お電話またはアルテザネットワークスウェブサイトのお問い合わせフォームよりお申し込みください。お申し込みには必ず、レンタルを予定する期間を明記する必要があります。



株式会社アルテザネットワークス

www.artiza.co.jp 証券コード 6778 Griffinの詳細情報はこちら →

〒190-0012 東京都立川市曙町2丁目36番2号 フォーレ立川センタースクエア Tel. 042-529-3494



アルチザネットワークスが携わる移動体通信の技術は、
人・モノ・コトがつながるために、今やなくてはならない存在です。
移動体通信の進化/普及によって、つながりはより広く、強固になり、
人種の壁、国境の壁、そして差別や境遇といった壁をも超えつつあります。

「RAN-TSP No.1」というビジョンを掲げるアルチザネットワークスにとっては、
「Technology Solution Provider」として事業を躍進させる上で、
最新の通信技術に貢献することを通じて、
人と人とのつながり、国同士のつながりを促進し
みなさまと力を合わせてさまざまな社会課題の解決を目指すことが、
重要な責務であると考えています。

「誰ひとり取り残さない」社会・環境の実現に向けて、
現状に甘んじることなく、積極的に
具体的な施策を実行してまいります。

これまでの取り組み



教育・現地採用

長期的な成長・発展を遂げるために多国語化したコーポレートフィロソフィによる社員教育と、dヘルスケアなど、福利厚生に資するツールの積極的な活用を進めております。
2023年に、ベトナム・ダナンにソフトウェア開発拠点を設立。十名程度のエンジニアでスタートし、順次増員を計画しております。



滝沢デベロップメントセンター/ 滝沢テレコムテストセンター

岩手県滝沢市のソフトウェア開発拠点・滝沢デベロップメントセンター（TDC）とテストサービスに特化した施設・滝沢テレコムテストセンター（T3C）において、滝沢をITの集積地にすべく、世界へ発信できる製品の開発・研究を行う拠点として邁進するとともに、隣接する大学からの採用と産学共同プロジェクトにも積極的に取り組んでおります。
また、2023年には両建物の屋根全面にソーラーパネルを設置。太陽光発電により、年間予想発電電気量96,377KW/hを発電することで、年間約52.2トンのCO2削減を見込んでおります。当該設備による発電は、EV化した社用車など自社設備での使用を主目的としますが、余剰分については東北電力への売電を行なっております。



災害・助け合い支援

当社は、災害時の被災者の救済や、被災地の復興、発展途上国の開発に役立てていただくため、様々な支援を行っています。

<近年実績>

- 令和 5年 トルコ・シリア地震救援金、ウクライナ人道支援、マウイ島災害支援
- 令和 4年 ウクライナ人道支援、飢餓に苦しむ地域への食糧支援、NHK海外たすけあい支援
- 令和 3年 NHK海外たすけあい支援、7月豪雨災害支援
- 令和 2年 NHK海外たすけあい支援、7月豪雨災害支援、新型コロナ対策医療支援
- 令和 元年 沖縄首里城再建支援、台風19号災害支援、台風15号災害支援
- 平成29年 九州北部豪雨災害支援



製品の安全性・品質

「通信機器の設計、開発、製造及び関連サービス（修理・保守）」を対象として、Intertekより以下の認証を取得しております。

品質マネジメントシステム	ISO 9001:2015
環境マネジメントシステム	ISO 14001:2015
労働安全衛生マネジメントシステム	ISO 45001:2018



- ◆ 事業活動においては、環境・安全への影響を考慮し、不良品削減および環境汚染の予防や資源の有効利用などによる環境保護・作業安全を推進し、継続的改善につなげます。
- ◆ 製品開発に当たっては、事前評価を確実に実施し、品質向上とともに、ライフサイクルを通して環境・安全に配慮した製品を提供します。
- ◆ 製造にあたっては、手順を明確にして、作業安全・効率の向上を図るとともに、不良品の削減を推進します。
- ◆ 不安全な状態・行動を黙認しないとともに、労働環境の監視徹底により過重労働を防止し、一人ひとりの健康の維持、増進します。
- ◆ 品質・環境・安全方針を推進するために、各部門にて品質・環境・安全方針に沿った品質・環境・安全目標を設定し、実行し、レビューを行い、目標を達成します。

これからの取り組み

SDGsは「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。
アルチザネットワークスは、2030年に向けて社会・環境問題を解決するために、
具体的な計画と目標を立て、実行していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
持続可能な開発目標（SDGs）とは2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。



2023

環境負荷の削減をさらに徹底する

ウェブツールの活用によるペーパーレス化のさらなる推進、勤務時間の遵守によるオフィスの消費電力の抑制など、業務上発生するさまざまな環境負荷の削減をさらに徹底し、環境負荷を前年度比2割削減します。



2024

誰もが快適に過ごせるオフィスの実現へ

ユニバーサルデザイン化、省電力・サステナビリティに配慮したオフィス家具の導入など、オフィスのリニューアルによって、地球環境にとっても従業員にとっても快適なオフィスを実現します。



2025

岩手県の人員採用を更に強化する

岩手県での雇用促進、地元と連携したビジネスの強化のために、滝沢デベロップメントセンター、滝沢テレコムテストセンターの新規採用枠を拡大し、2025年度には岩手勤務の従業員数を2023年度の1.5倍にします。



2026

人種・国境を超えて採用の門戸を開く

紛争国などから逃れてきた難民や移住労働者など、人種や国籍によって活躍の機会が限られている人たちを中心に、外国人採用を積極的に行い、2026年度には全社員の1割以上に増やします。



To Be Continued



株式会社アルチザネットワークス

本社 東京都立川市曙町2丁目36番2号 ファーレ立川センタースクエア
Tel. 042-529-3494 / Fax. 042-529-3495
URL <https://www.artiza.co.jp/>

※このカタログの内容は予告なく変更する可能性があります。
最新の情報は株式会社アルチザネットワークスにお問い合わせください。
© 2023 Artiza Networks, Inc.



www.artiza.co.jp
2023年10月

